

議案説明資料

京都市自転車安心安全条例案

公明党京都市会議員団

1. 自転車の安全利用を条例で制定する目的
 - ①市民(子どもたちや高齢者など)のいのちを守る。
 - ②安心安全のまちづくりに貢献(マナー向上・交通安全促進)する。
 - ③「歩くまち・京都」憲章推進に寄与し、観光客もてなしに資する。

2. 条例提案に当たって留意したこと
 - ①市民ぐるみの重要性を自覚し、市・市民・利用者・事業者等の責務と役割を明確にした。
 - ②市民目線を重視し、商店街利用者や商店会理事長、自転車事業者等から聞き取り調査を実施した。
 - ③条文が、難解な法律用語に極力ならないよう、「定義」以外にも箇条書き形式を採用した。
 - ④パブリックコメントを募集し、広範な市民意見を参考にした。

3. 府に自転車利用条例があるのに、市で新たに制定する理由
 - ①広域の京都府とまったく同じ内容ではなく、京都市の地域特性を生かしている。
 - ②自転車保険を重視し、レンタル業にも努力義務をお願いしている。
 - ③商店街の取り組みや学校での教育課程義務化など、府条例から一步踏み込んだ内容を目指している。

4. 条例の構成
 - ①1条：目的、2条：定義の後、3～6条で、市・自転車利用者・自転車関係事業者・市民の責務を明確にした。
 - ②7～11条で、具体的措置等の取り組みを明記した。
 - ③付則で、施行期日の周知期間を置いたことと、財政等の関係で新年度開始とした。
 - ④付則で、3年の見直し条項を設定した。これは全国の流れを参考としたもの。

5. 条例の特徴

- ①自転車損害保険を重視し、市(3条3項)・利用者(4条3項)・事業者(5条3,4項)の責務を明記した。
- ②マナー向上の啓発を重視し、利用者の責務に具体的励行項目(4条1項)を箇条書きで明記した。
- ③観光地である京都市の特性を鑑み、事業者に貸出業(レンタサイクル)を定義(2条, 5条4項)した。
- ④商店街での安心安全の取り組みを条文として独立させた(7条)。
- ⑤交通安全教育の具体取り組みとして、市立学校の教育課程実施義務を課し(8条3項)、市内事業者の従業員教育及び就学前児童の保護者への教育支援(8条5,6項)を含んだ。
- ⑥府市協調に配慮し、実効性を高めることを目指した(4条1項,6条1項,7条1,4項,8条,9条等)。

6. 参考

①2009年6月30日の京都府議会6月定例会における理事者答弁

(1) 熊崎京都府警察本部長

「府内における自転車に関係する交通事故につきましては、本年5月末現在、発生件数は1,343件で、全事故の約2割を占めております。負傷者数は1,364人で、前年とほぼ横ばいではありますが、死者数につきましては6人と、前年に比べ増加をしております。また、自転車同士、自転車と歩行者の交通事故につきましては、昨年1年間で118件発生をしております、10年前と比較しますと、約3倍に増加をしております。本年5月末現在で41件発生をしております、このうち歩道上の事故は13件となっております。」

(2) 山田京都府知事

「自転車は、自動車やバイクと比べまして、これも道路交通法が適用される車両という認識が十分ではないまま、歩行者が危険を感じるようなマナーの悪い運転も多く、先日、左京区では尊い命が失われるという悲しい事件が起きたところであります。そうした点について、しっかりとこれからも啓発をしていかなければならないというふうに思っております。

また、議員御指摘のTSマークのほうは、これは府内での取扱店は自転車販売店の約3割、普及率はこれも1%にとどまっております、こちらも改善していかなければなりません。」

②2010年4月17日付京都新聞交通安全紙面座談会の発言

(1) 加藤京都府警察本部交通部次長

「京都府内の昨年の交通事故発生件数は1万5009件、負傷者は1万7972人で、いずれも減少傾向にはありますが、いまだ多くの方が被害に遭っておられます。そのうち自転車に関係する交通事故は3280件、負傷者は3320人、死者は残念ながら一昨年より3人増加の13人でした。自転車事故の約70%は京都市内で起こり、その多くは交差点で発生しています。また交通事故による死者のうち半数以上が65歳以上の高齢者です。日本の高度成長を支え、豊かさの原動力となった方たちが、一瞬の事故で命を失うのはやりきれません。」

(2) 鷲頭京都市文化市民局市民生活部長

「京都市内の交通事故発生件数としては昨年に比べて減ってはいるんですが、死亡事故に占める自転車の割合は増えています。99年は自転車の事故率が20.7%で死亡事故率は8.6%。それが2009年には24.6%と24.3%に増えています。死亡につながる自転車の交通事故が10年で3倍に増えているんです。」

③商店街における自転車走行に関する調査結果（2010年7月に23商店会にて実施）

④パブリックコメント(2010年7月30日～8月30日の期間中、33名より62件の意見)

⑤自転車の安心安全についての市民意識調査（2010年9月に市民聞き取り調査し、301名から回答）